

天候に負けない強い農業を目指して!

豊岡市福田 小川 恭弘さん(29歳)



ミニトマト ちゅう果

小川さんは高校卒業後、一度大阪でスポーツ関連の活動を始めて、外から見ることで、改めて出石・但馬の魅力を感じ、興味と共感を持たれたそうです。

豊岡農業スクールに入校し、作物を作る楽しさとやりがいを感じ「土からしっかり作る」ことを

念頭に、年間計画をたて、土壌分析、肥料設計を基に微生物資材を積極的に活用し、生育環境を整えるとともに育生中も作物の声を聴くように心掛け、今作物が何を求めているかを知るようにしているとのこと。

自信を持って育てた野菜を「美味しい」と言ってもらえることが嬉しいし、原動力になると言っておられました。

平成28年秋に認定新規就農者となり、出石町日野辺でハウス4棟と露地栽培を併用して春から夏にかけてトマト、キュウリ、トウモロコシ、レタス等を、秋から冬にかけてはホウレンソウ、キャベツ、白菜を中心に多角経営をされています。又、イタリアン系のトレビスやピーズなども手掛け、京阪神をはじめ東京の百貨店、スーパーやレストランに出荷を行っているそうです。もちろん但馬の各店舗や市場等にも出荷をされています。

これからもJA青年部や機械共同利用部会など但馬で活躍している同世代の仲間と共に、天候などに負けない強い農業を目指したいと意気



キャベツの出荷

込んでおられます。このような若い世代の農業者が増え、地域の農業が発展することを期待しています。

(農業委員 井谷 勝彦)



家族と一緒に農作業

環境にやさしい農作物 (赤花そば等)の栽培

但東町中山 岡本 知賢さん(35歳)

岡本さんは、長年大阪に暮らしていましたが、都会の生活を一変したく、6年弱オーストラリアに移住され、日本に帰国後も、都会よりも田舎暮らしの方が自身の性格に合っていると思い、あてもなく新しい住居を探していたところ、豊岡市で地域おこし協力隊の話があり、移住を決められました。



地域おこし協力隊の活動では、レストラン『赤花そばの郷』にて、500年以上この地域で守り継がれている希少な在来種『赤花そば』の栽培、生産、販売をしておられます。



そばの花

レストラン『赤花そばの郷』では、つなぎ無しの十割のおそばを打ち立てで提供しており、お店のHP管理、宣伝活動、オンラインショップの管理等も担当されています。

また、そば以外にも、コウノトリ育む農法による無農薬タイプのお米も作っておられます。

人生初めての農業のため、農家の常識も何も知らない一からの事ばかりで大変ですが、それが返って新鮮で毎日楽しく過ごしているとのこと。

今後も、お店を更に沢山の方々へ広めていき知ってもらうために、宣伝活動などを行っていきたい。お店が繁盛することによって、その周りに人が集まりはじめ、地域おこしになると考えていると話されていました。

本当に美味しい十割のおそばです。そば湯も他ではなかなか味わえない一品となっておりますので、是非一度足を運んでいただければと思います。

(農業委員 永井 辰正)



赤花そばの郷

農地の賃借料情報

平成30年1月から12月までに締結(公告)された賃貸借(借賃が有料のもの)における賃借料水準(10a当たり)は、以下のとおりです。

この金額はあくまで参考事例として表示していますので、これを目安に圃場条件等各種条件を考慮し、賃貸借当事者間で決めてください。

平成31年2月25日 豊岡市農業委員会

■田(水稻)

締結(公告)された地域名	平均額(円/年)	最高額(円/年)	最低額(円/年)	抽出筆数 (借賃が有料のもの)	使用貸借筆数 (借賃が無料のもの)
豊岡地域(旧豊岡市)	9,100	10,000	6,000	53	36
城崎地域(旧城崎町)	-	-	-	-	4
竹野地域(旧竹野町)	6,000	7,100	2,500	18	56
日高地域(旧日高町)	7,100	10,000	3,000	81	45
出石地域(旧出石町)	6,200	10,000	2,000	105	35
但東地域(旧但東町)	8,000	10,000	5,000	6	30
(参考)豊岡市全域平均	7,100			263	206

【この表の見方】

- 抽出筆数は、賃貸借が設定されたもののうち、借賃が有料のもの筆数です。標準的な賃借料を算出するため、全賃借料の平均値±(平均値×70%)を超えるものを除いています。
- 借賃を現物で定めている場合は、60kg当たり14,200円で換算しています。
- 平均額は、算出結果を四捨五入し、100円単位としています。
- 参考のために使用貸借(借賃が無料のもの)の筆数もお知らせします。
- 畑については事例が少ないため算出していません。
- この水準は、あくまでも情報提供ですので、土地の広さ、形状、水利等の条件に応じて、貸し手と借り手の双方で十分協議してお定めください。

平成30年度 遊休農地パトロール結果

【12月末現在】

(単位：㎡)

	29年度 遊休農地	増 加	減 少	30年度 遊休農地
豊 岡	62,083	76	3,323	58,836
城 崎	43,476	462	3,210	40,728
竹 野	189,316	0	1,688	187,628
日 高	177,537	80,224	1,999	255,762
出 石	173,180	2,020	6,775	168,425
但 東	115,056	9,002	4,067	119,991
合 計	760,648	91,784	21,062	831,370

※「増加」は不耕作地や1年以上管理されていない農地で、「減少」は耕作再開や自己保全などで解消したものと非農地判断を実施したもの。(非農地判断した農地は減少面積の内5,755㎡)

昨年度から、遊休農地の増加に減少が追い付かない状況が続いています。

農業委員会では、農地の利用調整の他に、遊休農地の発生を未然に防止する活動にも力を入れています。耕作できなくなった農地があれば、お早めに地元の農業委員・農地利用最適化推進委員にご相談ください。